

ニーズ・シーズマッチング地域交流会 —ATAサテライト仙台—

コミュニケーション支援機器を活用した医療的ケアが
必要な方（児）への生活・学習支援について考える

2024年12月11日

木島真央

メイ・ソリューション株式会社 代表取締役

一般社団法人コム・イネーブル 代表理事

日本ALS協会宮城県支部 運営委員

報告の概要

- 自己紹介
 - メイ・ソリューション株式会社
- 開催概要
- 1日目の様子
- 2日目の様子
- 話題提供とフリートーク
- まとめ

自己紹介

メイ・ソリューション株式会社

Facebook



所在地：仙台市宮城野区福住町16-55

電話：022-794-7715

メール：info@maysolution.co.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/MaySolution2020>

メイ・ソリューション株式会社

平成23年6月設立

仙台市障害者バーチャル工房事業の参加者が創業

意思伝達装置やパソコン用支援機器・ソフトの取扱い

医療的ケア児へのコミュニケーション支援

e-スポーツ支援

対応地域 宮城県全域及び隣県

仙台市障害者バーチャル工房事業の受託



担当してきた事業

- 仙台市 障害のある方のためのITセミナー
- 宮城県 みやぎ障害者ITサポートセンター
- 仙台市 仙台市障害者ITサポートセンター
- 仙台市 障害者バーチャル工房事業
- 仙台市 重度障害者コミュニケーション支援センター

仙台会場開催概要

日時 10月12日 13:30~17:00
13日 9:30~12:00

会場 ハーネル仙台 蔵王A

参加者 31名

座長 メイ・ソリューション株式会社
代表取締役 木島 真央

副座長
有限会社在宅支援チームフォーレスト
代表取締役 望月 謙一 (理学療法士)

障害者自立支援機器

ニーズ・シーズマッチング 地域交流会

入退場自由・入場無料

ATAサテライト仙台

みんなで考えよう！

このATAサテライトでは、自立支援機器に係わる地域のニーズ側(使う人)とシーズ側(作る人)の関係者が集い、障害当事者に置かれている課題を共有し、その課題解決に向けた具体的な支援機器のイメージを検討します。
今年度は仙台市、高知市、那覇市の3会場で開催します。

テーマ
コミュニケーション支援機器を活用した医療的ケアが必要な方(児)への生活・学習支援について考える

座長 メイ・ソリューション株式会社 代表取締役 木島 真央
副座長 有限会社 在宅支援チームフォーレスト 代表 理学療法士 望月 謙一氏

開催日
第1部 ニーズを知ろう・深掘りしよう 令和6年10月12日(日) 13:30~17:00
第2部 解決に向けて考えよう 令和6年10月13日(月) 9:30~12:00

会場
ハーネル仙台 蔵王A
(宮城県仙台市青葉区本町2-12-7)

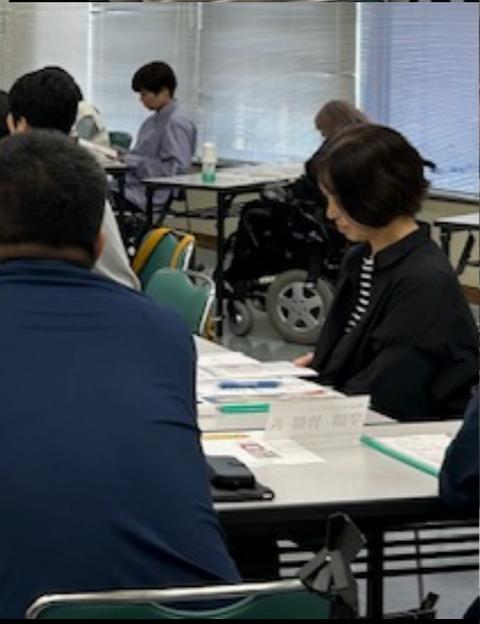
参加料・参加資格
参加料無料
福祉機器、本テーマにご興味あるかたはだれでも参加できます。

定数
定員 20名程度 ※原則、対面での開催とします

ニーズ側 障害者、家族、在宅・施設等の介護職員、医療・福祉従事者 等
シーズ側 開発メーカー、産業振興団体、行政、新規参入を検討する企業・研究者、大学関係者、研究機関 等

**お申込み
問い合わせ先**
主催者 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 岩田、宇田川、香川、五島
東京都新宿区神楽河岸1-1セントラルプラザ4F
電話 03-3266-6883 メール shogai-kiki2@techno-aids.or.jp
参加ご希望の方は右記QRコードよりお申込みください お申し込みはこちらから→

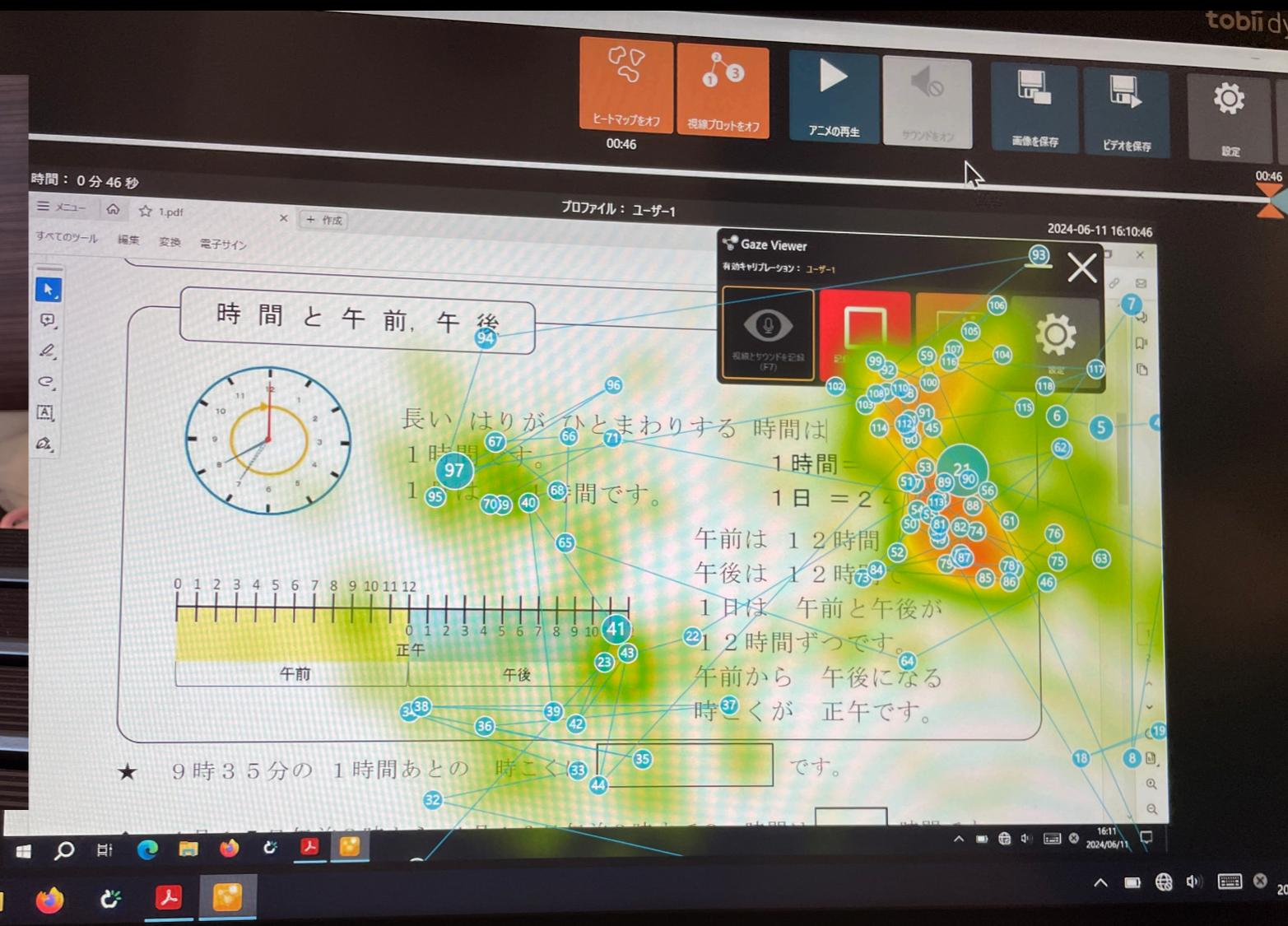
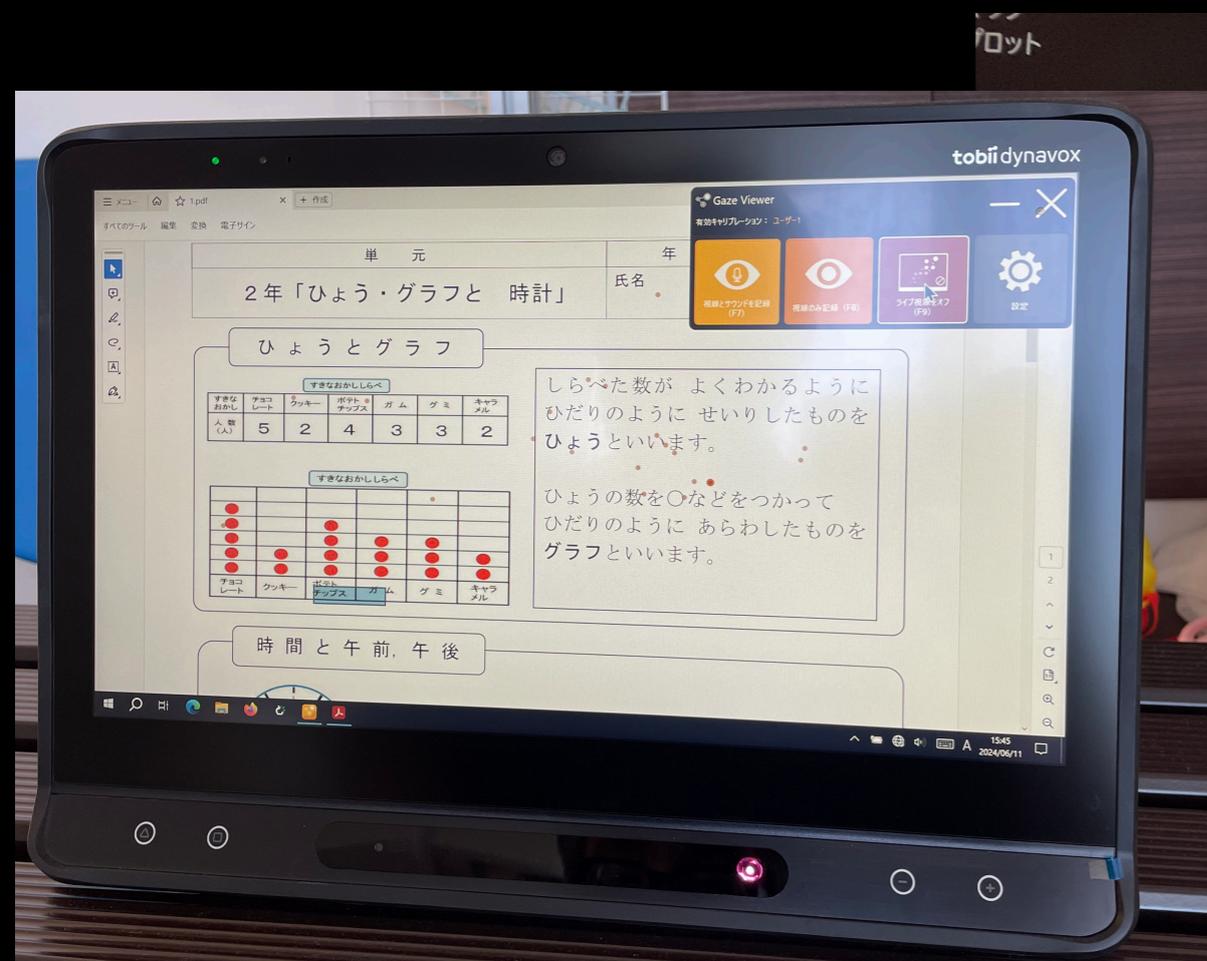




参加頂いた皆さん

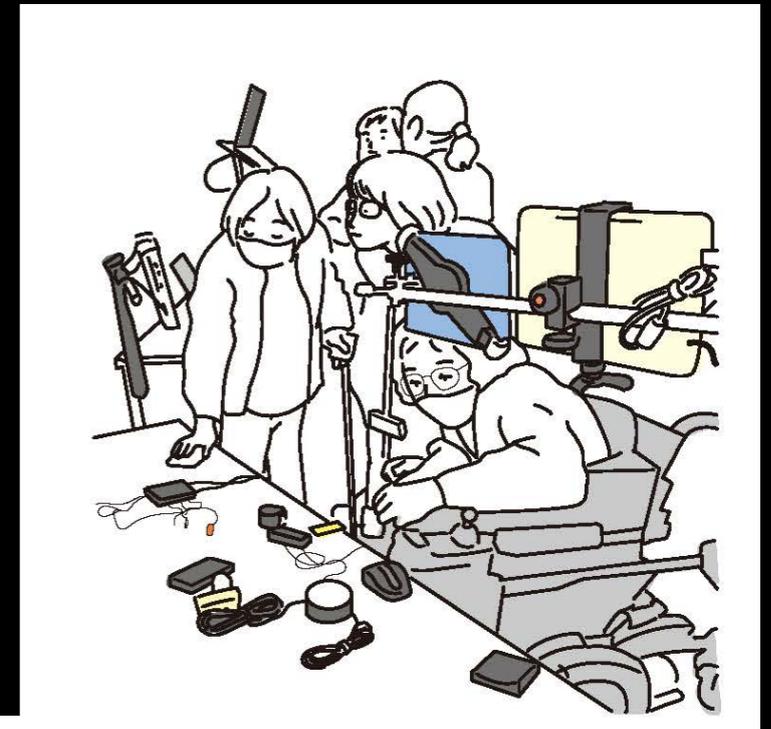
・ 1日目	23名	・ 2日目	18名
・ リハ職	7名	・ リハ職	7名
・ マッサージ師	1名	・ 看護師	1名
・ 当事者	3名	・ マッサージ師	1名
・ 当事者家族	4名	・ 当事者	1名
・ 支援者	4名	・ 当事者家族	1名
・ 行政（主催者）	3名（4名）	・ 行政（主催者）	3名
・ メーカー	3名	・ 支援者	2名
		・ メーカー	2名

テーマが決まるまで



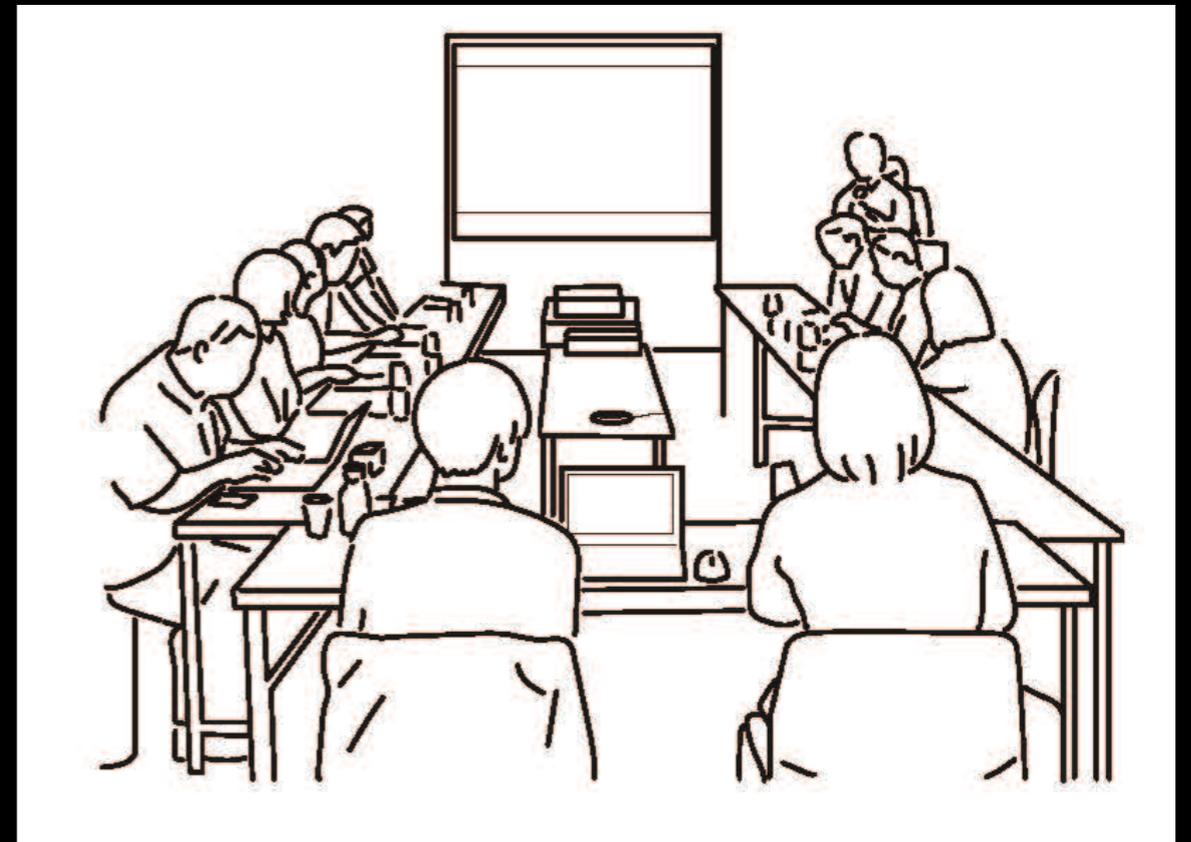
1日目

- ・ 主催者・座長挨拶
- ・ ビデオレター紹介
- ・ 自己紹介
- ・ ニーズ側からの話題提供
- ・ 質疑応答・フリートーク
- ・ シーズ側からの話題提供
- ・ 質疑応答・フリートーク
- ・ 機器の体験



2日目

- ・ ビデオレター紹介
- ・ 1日目の振り返り
- ・ 自己紹介
- ・ シーズ側からの話題提供
- ・ ニーズ側からの話題提供
- ・ フリートーク
- ・ 副座長・主催者の挨拶
- ・ 機器の体験



ニーズ側の話題提供①

事例紹介① フォーレスト在宅支援ステーション



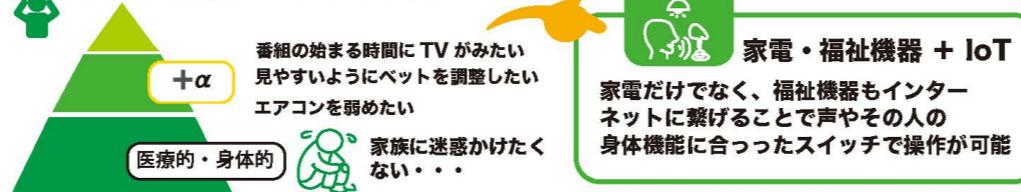
ネットワーク・連携事業
2003年 有限会社在宅支援チームフォーレスト設立

理念 利用者様とその家族の生活と再構築を保障する

IoTの導入の流れと役割



家族の介護負担/本人の負担観



生活場面での活用① 頸椎損傷

本人の希望で自宅退院

生活の全てにおいて、家族に助けを
もらわなくてはならないと思っ
た...

IoT導入

夜中、家族を起こさなくていいも！
家族をわざわざ呼ばなくていい！！



生活場面での活用② 筋ジストロフィー

寝る時に寝室でも扇風機を使いたい
Echo Dotが遠くて声が届かない
夜に家族を起こすのは申し訳ない

進行に伴う改善・残存機能の活用

本人様が使いやすいデバイスへの変更
モノの設置を変更、追加



IoTの活用 ≠ 楽をする - 生活を安全に便利にするもの

ニーズ側の話題提供②

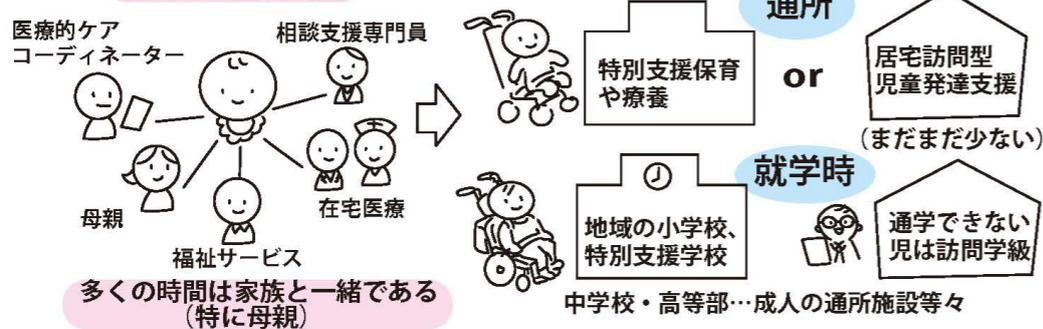
幼児期からの楽しい体験を土台に 自分の意思を発信できる機会を

後藤美枝さん 南部発達相談支援センター

医療的ケア時とその生活を知る

出生後、NICU 等で中長期の入院を経て在宅退院する児が増えている。

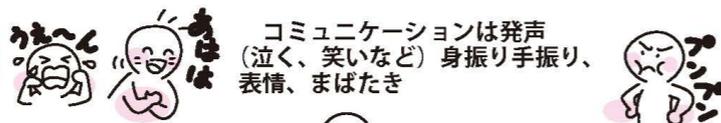
在宅での生活調整



本人の発達・成長に合わせて 医療ケアが必要



様々な経験や体験の機会が制限



相手に伝えることの難しさ
(発信の手段は?)
身近なものだけがわかる合図?



支援機器の可能性 遊びの体験を通して

何かを触ったら感触が面白かったので
何度も触ってみる



大人の真似をする



触ったら暖かくなる



触ったら照明がついた



触ったら音楽が聞こえる



自分が行動すると周りのものが反応する
支援機器の可能性が広がる・・・自分の意思の発信

はじめは物への興味・楽しみの発展から

楽しい音楽は、
じっと聞いている



DVD/ビデオ



好きな DVD/ビデオを楽しむ

自分で選ぶことが
出来たらそんな経験が
できたら楽しいよね

自分で選択する・決定する機会の重要性

学齢期の重度障害者のある方々
支援学級で VOCA などを
使い授業をしている



成人の通所施設でボタンを押すと
童謡が流れる絵本を押して
楽しむ利用者さん

成人期の医療的ケアの方の支援を通じて

成人の方の入所施設、通所施設を利用している方々に多くの
可能性を感じる。

挨拶をした時の表情・身体の反応・相手に訴える力

力を持っていても自ら発信することは難しい状態

もっと前から経験・体験できていたら

機器の力で成長を助ける

自分の意思を伝えられる
手段としての活用

幼児期からどのようなおもちゃ機器を使用していくと
成人期に発信できる力をつけることができるか?

ニーズ側の話題提供③

マイトビーを使って学校生活を充実させたい！



泉中央南おひさま訪問看護ステーション
作業療法士 大貫 操 さん

Sちゃん (7歳) 2022年2月発症 低酸素性脳症

- 下肢装具使用し立位保持
- 手指の使用は困難
- ペンの把持をサポートして手を保持し付随運動をコントロールすると、なんとか文字や絵を書くことができる
- 好きな本やテレビを見る
- 知的には年齢相応に保たれている



Sちゃんの学校生活に入り学校での支援に悩んでいる
先生へのフォローなど

立位保持練習



座位保持装置シュクレ



付随運動が多い

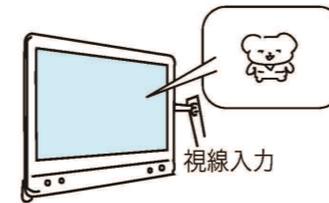
手、首の安定



クッションを使い付随運動が収まってきている(首部分)

マイトビー 1-16

みんなの目標



Sちゃん 妹と遊びたい(お話したい)
絵を描きたい
勉強したい(算数が好き) 1
23

両親 学習を進めたい
確実にYES-NOを伝えたい

OT 学校での活動をもっと楽しんで欲しい
そのために先生をサポートしたい
(姿勢保持、授業の参加、お友達との遊び・交流)

マイトビーでやりたいこと

不随運動があっても
確実に使用できる
入力装置であることが
わかった



YES-NOを確認する手段
として授業で使用したい



マイトビー 1-16

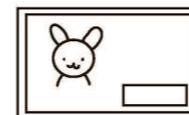
視線ビューアを使用
すると、追視している
ところがわかるので、
理解の度合いが把握
できる。

学芸会は楽器演奏との
ことで、マイトビーを
使用して参加できそう。

妹との遊びのツールにしたい
OXで伝える

好きなテレビ・録画を選んで上げる。
(お姉ちゃんとしてできることを作る)

お互いに
算数・国語の
問題を解く



お絵描き (できたらいいなと...)

ニーズ側の話題提供④

コミュニケーション支援～事例紹介～



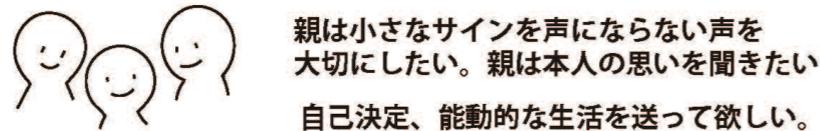
ないとうクリニック訪問看護ステーション
理学療法士 菅原まき子さん

コミュニケーションとは…

社会生活を営む人間が互いに意思や感情、思考を伝達し合うこと。

言語・文字・身振りなどを媒介として行われる

言語（言葉・文字） 非言語（言語以外のもの。聴覚情報や視覚情報）



「助けて」を伝えることができる手段を作りたい



Yさんは、赤ちゃんの時から人工呼吸器を使用している。ICUの
時、痰は自分で取れないため、自分で呼吸を止め、アラームを鳴ら
し、看護師さんを命懸けで呼ぶことをしていたことがあり、スイッ
チの重要性を感じた。

●ご家族とのコミュニケーション方法の確認

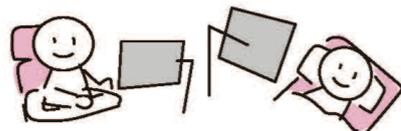
- 発達段階や理解力を評価
- 好きな遊びやキャラクター、興味があるものを探る

理解力を育む
コミュニケーション
手段を見付け育てる

「理解力」を育むにあたって

理解力がどれだけ
あるのかの確認

- 話し言葉だけで理解できる？
- ジェスチャーを兼用すればわかる？
- 特定の物や場面を見るとわかる？



能力を十分発揮するための
安定した姿勢や見やすさへの配慮

事例2 遷延性意識障害のYくん 30代 男性 頭部外傷後遺症

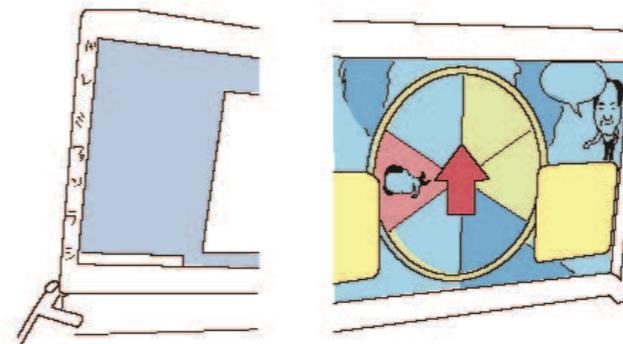
2004年高校生の時交通事故

意思表示は口唇部を突き出したり、瞬きにて可能
聴覚理解は可能

「自らの意思を表出できるようになる」想いから支援が始まる。



スイッチは使用せずに視線入力を使用。



視線入力

右側が苦手なので右側に
視線を動かす練習のために
Y君の好きなタレントを使用
したゲームを作成

苦手部位をみる事が出来た
時に報酬（楽しみ）をえられる
ようにした

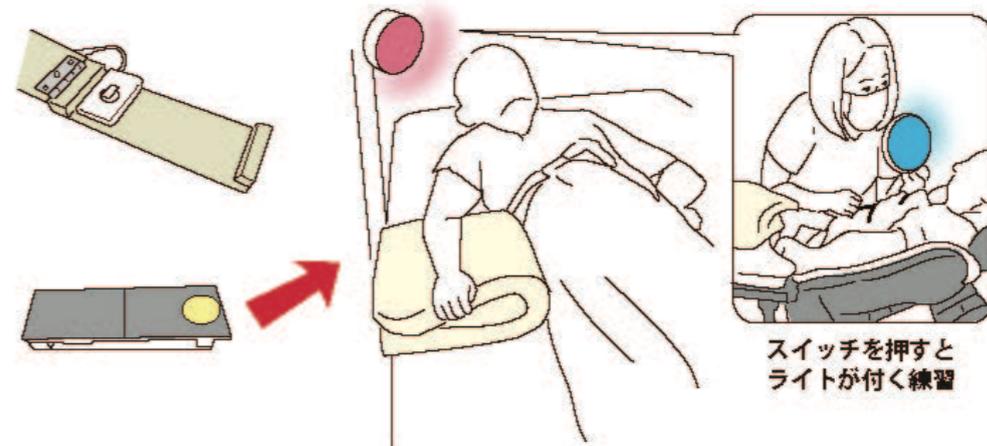
2019年 内閣府より「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労賞」受賞する

事例3 レスピをつけた聴覚障害のRくん

ミトコンドリア（自閉症、腎不全、高度難聴などなど）

会話は手話でおこなっていたが、腎臓移植手術、入院中ミトコンドリア
脳症から手指の動きが悪くなり、手話もあまり行えない。

気管切開をしており、発語が困難なためコールの検討を行う。
練習用スイッチを作成
ボタンを押した時に光ったらコールが鳴っていることがわかる



ニーズ側の話題提供④

理解力を育てていく

家族とのコミュニケーション

イヤ、イタイのサインを教えてもらうー共有
設定していることで気を付けていること
「ごめんね」痛い思い・悪いことをしている時 「おわり」ーきとんと終わらせる



「理解力」を育む好きなもの

反応をひきだすものを探る
刺激・反応（何にどんな反応をするのか？）理解力の反応
光色、おもちゃ楽器 音楽など
笑うのか、手を対象物

コミュニケーション手段を考える

- 単語レベル 学校の帽子 学校に行くんだ
 - ジェスチャー 学校の写真ー学校 学校に行く
 - 特定のものの場面 聞くことはできるが、見ることはむずかしいことがある
- お腹すいたー舌を鳴らす動作で教える
期待反応を育てるー安定した設定を繰り返す

コミュニケーション手段を育てる

AAC 誰が見ていても理解できる手段・カード、みぶり→スイッチへの練習
焦らせないこと、AAC 自体が嫌いにならないように配慮する

事例 1 音楽な大好きな H くん 10 歳男子 ミトコンドリア病・リー脳症

音楽が大好き 好きなおもちゃ音や セリフの順番を覚えている
遊びを通してアセスメントを進めた

聴覚理解、順番の概念など学習能力が高い
学校との情報共有を行い、共通したかわりを実施

現在言葉を発することもできるようになってきている

舌鳴らし順番、動作の口頭指示を理解し覚えている

反復することで学習し、模倣も得意

デジリハで音楽ー視線を中央に集めて音を作れるようになった

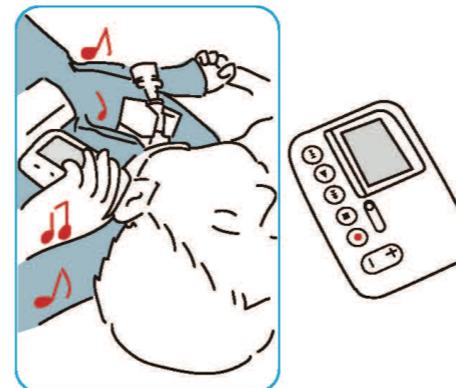


事例 4 脳腫瘍と白血病を闘い抜いた T くん

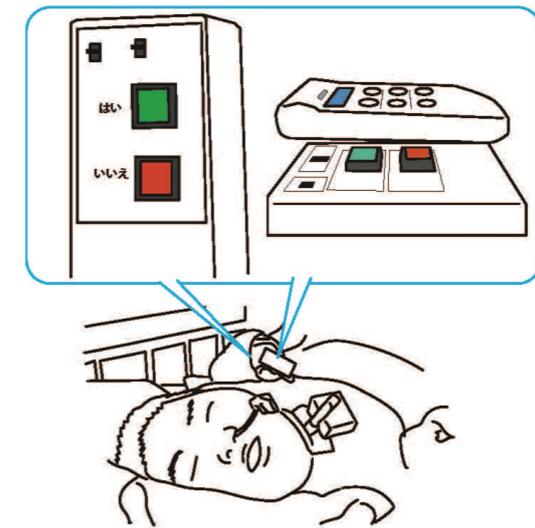
27 歳男性 脳腫瘍 白血病

生後 2 か月で左脳摘出。一歳で後頭葉摘出。言語中枢はないが「お母さん」「だっこう（学校）」などの発語みられていた。舌を鳴らしたり、ものを投げてコミュニケーションをとる。レスパイトを検討した際「ナースコール」を押せないことで、施設から利用を断られた経緯があり、コールの検討を行う。

いつものボタンに合わせて「はい」「いいえ」のボタンと「お母さん」と出るようにも細工してもらった



指で音楽を聞くこともできる



まとめ

何が出来るのか？どうしたら表出しやすいかをしっかりアセスメントすることが重要

子供達は「楽しくない」と継続してくれない「楽しい」をいっぱい散りばめることが大切

子供達の力は無限大
焦らずに時間をかけることも大切



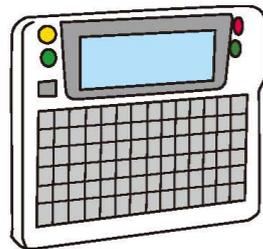
シーズ側の話題提供①

シーズ側①松尾光晴氏 (アクセスエール株式会社・代表取締役)



父親がALSで苦労した

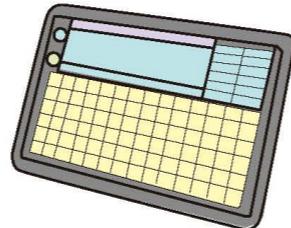
1992年 大阪府立大学修了後 パナソニック株式会社へ入社
 2003年 福祉機器を開発する社内ベンチャー代表に就任
 「意思伝達装置レッツ・チャット」他、重度障害者向け福祉機器の開発販売
 2020年 レッツ・チャットの生産修了に伴いパナソニックを退社
 アクセスエール株式会社設立
 これまで20年以上重度障害向け支援機器の開発、販売に従事



ファインチャット



リモコンエール

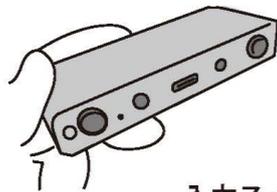
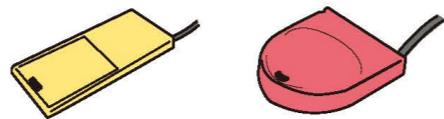


ファイン・チャット for iPad(来春発売)

入力スイッチ



iOSアダプタ (年内発売)

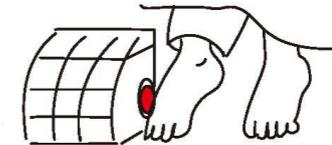


入力スイッチのアダプター
充電とスイッチにも使える

マイスイッチ作成

身体用途に応じたのスイッチ

例 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)



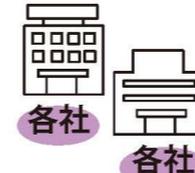
「マイスイッチ・ホームページ」検索

業界団体立ち上げの背景

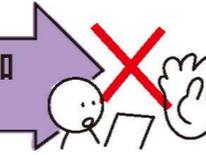
かつて「重度障害者用意思伝達装置」は「日常生活用具給付制度」の枠で給付されていた



10年以上経過し、IT技術が進みパソコンタイプを中心に業界への参入が相次ぐ



機能追加
相談



個別の案件には回答できない



関係機関との交渉をおこなうには



2024年4月設立

「一般社団法人日本障害コミュニケーション支援協会」を立ち上げる

JAcD

参加企業13社

一般社団法人日本障害コミュニケーション支援協会

厚生労働省



- ・業界団体課題共有化
- ・厚生省との意見交換
- ・補装具7団体としての連携

補装具としての予算化
課題解決

シーズ側の話題提供②

ウェアブルディスプレイについて —コミュニケーション手段の視点から—



刈谷花子さん

レノボジャパン合同会社
モバイルプロダクト企画部プロダクト本部プロダクトマネージャー
父と祖母の介護を両立してた
時期もありました。

ウェルネス領域の支援機器としてのウェアラブルディスプレイの紹介

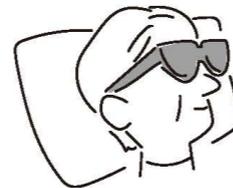
視野を覆った形
投影される画像から
感じられる
距離感が良い



顔、頭全体の髪型の
ばらつきに対応
グラスの着脱
が容易
(転倒防止にも)

いろんな人にフィットするように作られている

(視力矯正ビジョンアセスメント)
特注レンズ開発可能



好きな歌手の映像を見ている

介護する方に依存せずに自由に自分の
楽な姿勢で映像視聴ができます。

仮想 TV や PC 補助機器としての実現可能性に関する仮説

ウェアラブルディスプレイ



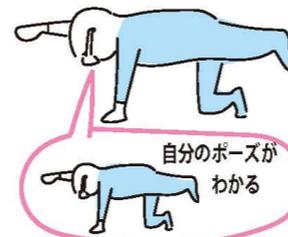
自分だけの感覚
のみで見られる

設定・新しい機器はいらない



自分のペースでリハビリカラオケ

運動中の動きをグラスに投影するリハビリシステム



自分の動きが
わかる

自分のポーズが
わかる

トレーナー
視線



トレーナーの声と
自分の動きを同時視聴できる

シーズ側の話題提供③

重度障害者向け意思伝達装置 [eeyes] でできること



株式会社 オレンジアーチ
宇田竹信氏

極わずかな体の動きを使って操作できます。

文字を入力して発声

声色を使い作成した文の読み上げ

スマートスピーカー音声入力アプリが利用できる

メール機能

プリンタで文書や日記が印刷できる

Windows 操作機能で SNS やインターネットが利用可

赤外線リモコンでテレビやエアコンなどの家電が操作できる



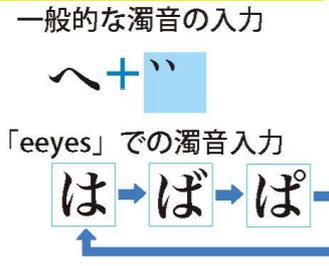
eeyes の最大の特徴
視線検出式入力装置 (アイトラッカー) は、他の入力装置と違い、on/off ではなく、見ている場所を伝えることが可能です。この特徴を最大限に利用したのがイイアイズの特徴の一つです。

入力方法

eeyes は「入力の方式」と「画面の動き方」を選択して入力する方法を決定する

入力の仕方	入力方式	画面の動き方
スイッチを1つ利用	走査入力	固定画面
スイッチを2つ利用		移動画面
アイトラッカーとスイッチを併用	視線入力	移動画面
アイトラッカーを利用		拡大画面

濁音・半濁音・小書き入力



絵文字 絵文字が主体

様々な絵文字を搭載することで、ちいさな言葉の間違いが重大な問題と捉え、言葉のニュアンスまで伝わるよう設計

ありがとう 😊 ありがとう 🙏

開発コンセプト

ご利用者様に対して
「直感的に扱え、疲れにくい」

ご家族や介護者様に対して
「覚えることが少なく、手間がかからない」

coestation™

声を登録して文字を打つだけであなたの声が喋り出す

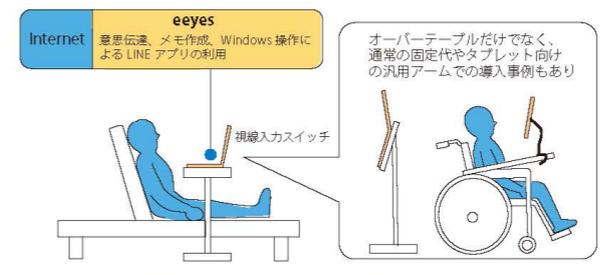


音声合成技術を使ったサービス



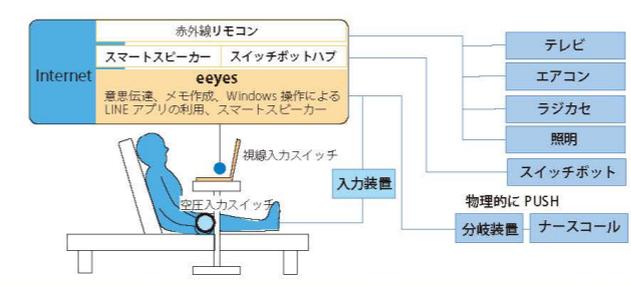
導入事例 1

状況：筋萎縮性側索硬化症 (ALS)、多系統萎縮症 (MSA)、脳性麻痺
要求：症状が進行し、口頭によるコミュニケーションが困難となり、補装を要する
要求：ラインアプリでのコミュニケーションを継続したい



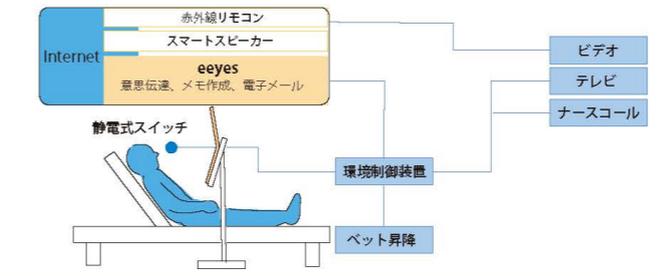
導入事例 2

状況：筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
要求：症状が進行し、これまで利用していた意思伝達装置が利用できなくなったため、代替が必要
要求：高速な入力 LINE アプリの利用、環境制御、ナースコール呼び出し経路の多重化を求める



導入事例 3

状況：脳幹出血
要求：これまで利用していた環境制御装置が修理不能になったため、意思伝達機能を加えて新調したい。
要求：新しい環境制御装置から操作可能な意思伝達装置であること、電子メールとビデオ操作が行えること。



シーズ側の話題提供④

支援者側から生活の中のIoT



フォーレスト訪問看護ステーション
IoTの導入の流れと役割

IoTは"Internet of Things"の略
モノをインターネットにつなげることで、新しい方法を生み出す技術



家電やベッドなどの福祉機器など、
さまざまなモノをインターネット
とつなげることで声での指示で
自分で家電操作が可能に！

IoT導入の流れ



セラピストの役割は重要—その方に合わせて機器を組み合わせる

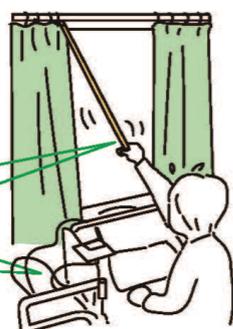
実際の導入事例

カーテンの開け閉めをしたい

ベッド上で杖を使ってカーテンを開け閉め

開け閉めの時腕に傷ができる

ベッド周りは配線だらけ

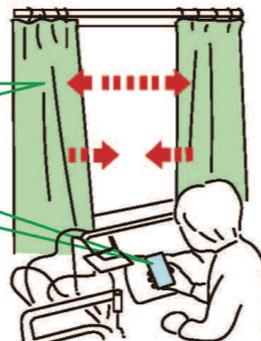


スマホで開け閉め

毎日やることはラクに継続できる

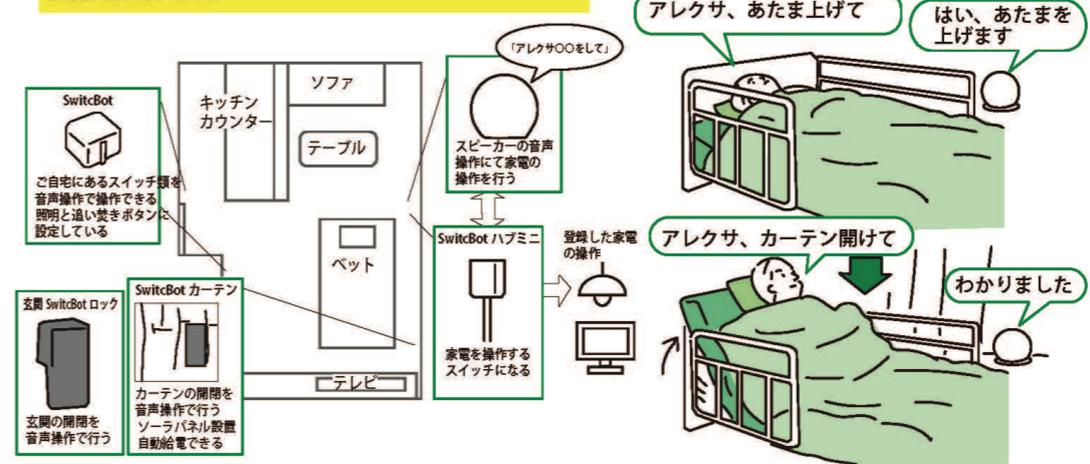
危険なくカーテンが開閉することができる

他のことに労力を割ける



実際の導入事例

身体機能に合わせた機器の選定、導入後頸髄損傷の方



外出買い物支援 脳梗塞、心疾患

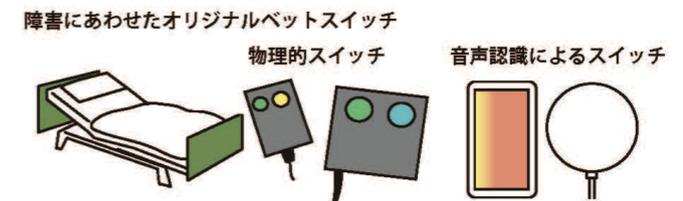
- ・買い物に行くまで疲れてしまう
- ・ビールが2本しか買えない
- ・わざわざタクシーを使うのもなあ

電動車椅子 or セニアカー

- ・行きたいお店までの道路環境に合わせて
- ・片手での操作のしやすさ、乗り降り
- ・移動距離、バッテリーの駆動時間、付け外し
- ・他のことに労力を割ける



フォーレストの取り組み IoTサービス



ニーズ側のまとめ

IoTなどITはどこでもでき
使えると思えるが設定が必要

機器や物には
お金が出る

設定や修正できる
専門家が必要

支援には
お金が出ない
自費だとお金の負担が大きい



フォーレストさんのようなところが全国にできれば、福祉の方向が
良い方向に向いていく

認知症センサー IoTを使うと便利、GPSも広がっており、当たり前な
世の中だが、社会保障制度が整っていただければ

支援者として

シニアの意思伝達装置について相談を受けるがその人に合っているのか、
スイッチもその人に合ったものであれば、もっとその人に使いやすいよう
になっているのか？もと思う。できたらいろんな機器に精通した
専門員を作っていたら、アドバイスして下さる方を育てて欲しいな
とあります。



目が見えないので音声でホームページを見たいかたもいるのでそういう
機器もあれば

家族として

IoT化されたことによって、65歳以上の方には設定等が難しいと感じている。
機器そのものよりも、設定の支援の方が重要。町の電気屋が何でも屋として頼られて
いる状況。事業として成立するように国からの支援が必要だと感じている。
コロナの時期には子どもの付き添いができなかったため、妻から頼まれて遠隔で病室
のものを操作できるようにした。
自分は職業柄知識があるので可能だったが、通常は難しいと思う。
ITリテラシーのある家族がいるといたないでは違うと思う。

厚生労働省として

宮城県と仙台市は積極的に地域生活支援事業にて支援機器の適合サポート、紹介をして
いただいている。障害者のための支援機器を広く知ってもらうために専門職を広げたいと
考え、今年から研究事業としてPT、OT、ST、視能訓練士の団体・養成校に、支援機器の普及
促進のための教育・取組みを入れてもらう活動を始めたところである。また、問い合わせ先
となるような拠点を作り、全国10拠点を指すという取組みもしている。さらに補助も
頑張りたいと考えている。

フリートーク

スイッチ

筋ジストロフィーの人などは足の指などで操作と書くと「それはどこで売っていますか」と、問い合わせがくる。患者さんの身体の機能にどうゆうふう動くのかあわせて作らなくてはならず、そういう人をどれだけ増やしていけるのか、厚生省の研究には非常に期待している。



IT 機器

IT 機器を使う人はいるが、生活が単調になってしまう。介助している人と人間としてのコミュニケーションをしなくなってしまう（顔を見れば何をしたいかわかる）会話を IT でどうコミュニケーションツールを使って、どのような言葉で意思を第三者に伝えるかスキルやツールを使っていくか？

ウェアブルディスプレイ

昔はバーチャルは高価な物だったが、今は家庭でも使えるが、何に使うか以前リハビリで歩くための目標設定のストーリーを作りリハビリをやっていたので、そういう分野に使える可能性がある

高齢者の分野で、リハビリで自分の動く画像を見れるのはとても良いと思う
バランスをとる自分では見れない部分が見れるというのが良い。



子どものコミュニケーション

コミュニケーション機器全般で、子どもの発達障害、自閉症だと文字に頼らないコミュニケーションでも何か伝わるイラストレーターを沢山いれてもらえたら、体感的にわかりやすいもの、気持ちを患者さん目線で使えるなり作ってもらえれば。
視線入力便利だが、視線入力はスキルがあるので、子どもには特に難しかったりする。視線のズレが理解できない子どももいる。
相手に伝えたいという気持ちがどれくらい育まれているか、子どもは楽しくないと学習しない。

医療ケアを受けるお子さんの状態も様々な中で、特定を見極めながら大人と関わり、楽しいなという段階を早く育てることが非常に大事。

病院でしていること

家庭
学校
デイサービス
リハビリ

つながって
いければ
いいと思う



スイッチ

機器を使用するにあたってスイッチを使う方が体調によっていつものスイッチが使えない日もあるのでサポートがあれば助かると思う。

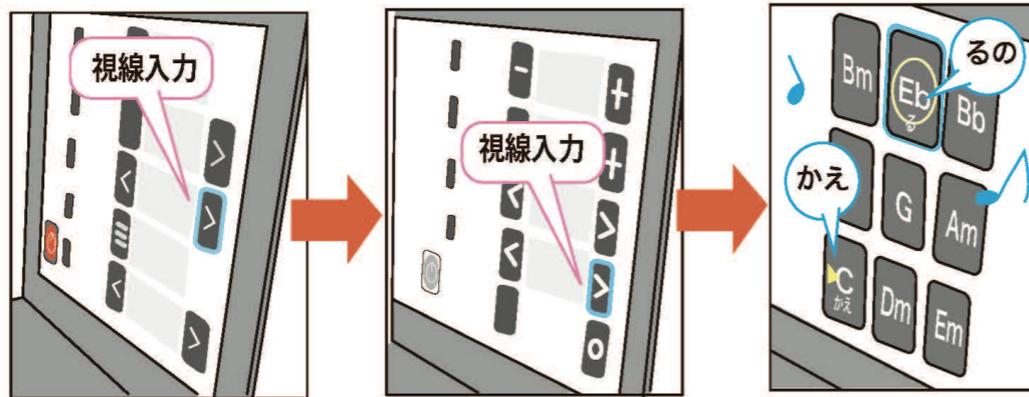
フリートーク

フリートーク シーズ側から

今回の交流会で話された内容に解決できるものは

宇田氏
 意思伝達装置コミュニケーションにはいろんな見方があり、一緒に何かをやっていくことが大切 視線入力によるもので、もっと興味を引くユーザーベースを改善していきたい。
 クリスマス会など皆と一緒に音楽を楽しむ内容もある
 内臓シンセサイザーボタン全てで、音が出るようになっている。
 今後人気アニメ曲など利用者に合わせて選曲できたならと思いました。

eeyes



松尾氏
 コミュニケーションだけでいいというならスイッチだけでいいと思う
 スイッチの練習するアプリケーションは沢山ある。練習することでできるようになる。視線入力は素晴らしいし、いいものですが、目の前にそれがなかったらできない。
 視線を画面に集中するので、周りの状況が見えない、視線のサブでスイッチがあると良い



全身に強い震戦があり、意識がないと判断されたがスイッチを半年間練習し YES・NO ができるようになり、レッツ・チャットで自分の名前を打つことができ、意識があることを証明した。

オタマトーンを使ったスイッチ音楽で楽しみながら練習できるこれをやると多くの方がうまくできるようになっている。

フリートーク ニーズ側から

Sちゃん7歳の環境は学びの機会が少ない事、支援機器で視線入力、指先スイッチでのツール文字学習が思うようにできていない、どのように学びを深めていくか、将来高校を卒業するまでに文章を作ったり、仕事につながるようにできるまでにしたい、皆様のお力をいただきたい。

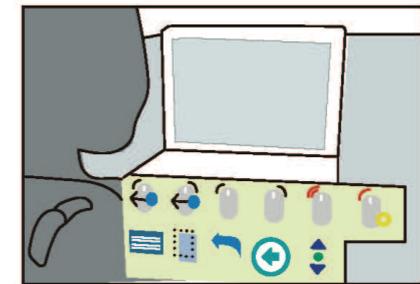
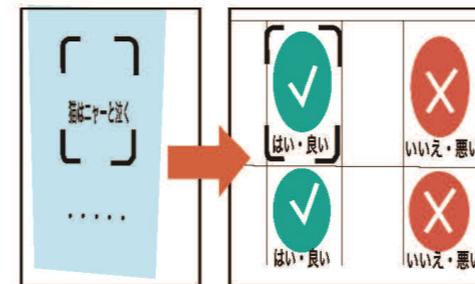
放課後デイサービス勤務で平日2時間という中で入浴介助もあり、時間も短く人数も多い中で蔑ろにしている部分に気づけた。自分の取り組みが変わるなと思いました。利用者さんのモニタリングもしていて、ご家族の話を聞く機会もある、医療的ケアがメインではあるが、その子がデイサービスの中でどう過ごしたいかを支援したいかを見ていくことと、一つ一つの小さな反応を知る事、視線入力やスイッチなど活用できるものを使っていきたい。

成人障害施設で、平均年齢が44歳、60歳代の方だと「あいうえお」わからないが40歳代は手話を学んでいなかったが、実際に学んでみたら使えるようになった。学習の機会が大事、本人がいかにか充実した生活を行えるか、自分でできることはすごく大事。カーテンを開けるなどのITの支援者側への支援もあるということも学ばしていただいた。

進行性難病の方はスイッチ・視線入力・スイッチ・視線入力となるので、スイッチは重要。視線入力はスピードが早くなるだけで、コミュニケーションベースなら、スイッチだけでも十分、視線スイッチから入って、そこを手でさわれば、できることがわかることもあった。

シーズ側から

eeyes



どこまで理解できるか はい・いいえだけで答えられる

はい・いいえ から文字入力へステップアップしていける

まとめ

今日のお話を聞いて、今のニーズの中でカバーできることは多い。スイッチ、視線入力の過程の流れをみていけば、現場の中でニーズ側シーズ側が関わって行かれる場があるのではと思った。楽しくする為に工夫をするにはそれぞれの個性をまず見るということがすごく大事なことで、この先の技術が見えてくることを学んだ。